

土地連、借料971億円要求

13年度9年で37%増目標

い状況だが、頑張りたい」と述べた。

土地連はこれまで1782億円を目標に掲げていた。この額は妥当とする姿勢は変えないものの、総会では「実現可能な要求額を算出して求めていく」方針を採択した。

内部検討では、現在「農地」と評価されている軍用地を「宅地」に変えるなど地目を見直せば、総額1285億円が適正と判断。13年度9年間で39億円ずつ段階的な引き上げを政府に求めていく。

県軍用地地主会連合会（土地連、喜屋武茂夫会長）は29日の定期総会で、

2013年度の米軍用地賃貸借料として総額971億円（前年度比4.2%増）を国に要求する方針を決めた。地目評価見直しを独自に算定し、現行から353

億円増（37.8%増）の1971億円が盛り込まれる

285億円が「適正な借料」と位置付け、21年度ま

での9年間で段階的に増額させる目標を設定した。

当面、地目評価見直しの在り方について防衛省と協議を続け、今夏の来年度予算概算要求で13年度要求の

よう要請していく。

喜屋武会長は、12年度の借料が要求額に満たなかったことについて「大変済まないことになった」と陳謝しつつ、13年度に向けてどういう形で地目見直しが出てくるかがポイント。厳し